

農協と組合員をつなぐ広報誌

# なつしんぱ



みなさんの仲間入りをしました北村<sup>あおく</sup>仰さんご夫妻です。

4月11日に美原地区に新規就農されました。「今ある施設を十分活用して経営を安定させていきたい」と話され、仲間入りを決意しました。みなさんよろしくお願いします。



## 5月号

2016 Vol. 460



## 良質な草地作りを日々模索 育成牛の飼養管理をもっと効率的に

美原地区・荒牧場後継者 **荒 貴志**さん(28歳)

今月は美原地区の荒牧場の後継者。荒貴志さんに取材を受けていただきました。

### 荒牧場の始まりと歴史

貴志さんの祖父・昭三さんが芦別市黄金町で酪農業を営んでいましたが、新たな土地を求めてパイロットファーム事業により昭和35年、現在の場所に入植。ホルスタイン2頭からスタートしました。当初、収入のためビートや馬鈴しょも作付しながらの営農は軌道に乗るまで大変でした。

父・青史さんは実習生として佐賀県から来た津美子さんと結婚したのが昭和58年。その後は昭和63年2月に長男の貴志さんが誕生しました。

### 酪農家として

#### いきっていくきっかけ

貴志さんは別海高校の酪農科へ進学し、先輩の姿に「かっこいいな」と憧れを抱き空手部へ入部しました。

元々、男兄弟が一人でしたがしつかりとは後継ぎの意識はしていませんでした。高校卒業と同時に実家へ就



育成牛に牧草ロールを与えます

農しようと考えていました。しかし、両親の「二度は家元を離れて生活しなさい」という勧めがあり、高校卒業後、酪農の修行のためアメリカで1年間研修する事を決断しました。最初はミネソタ

州の法人経営の農場。2カ月後にウイスコンシン州の家族経営の搾乳牛250頭規模の農場へ場所を移し、ブラジル人の従業員5人との生活でブラジル人はポルトガル語、農場主は英語と2



除角作業のため道具の手入れをします

つ言葉が飛び交う生活で語学は苦勞しましたが、数カ月すると耳も慣れてきて単語が解ると次第にコミュニケーションを取れるようになります。ハードワークな日々でしたが、帰国前にサンフランシスコやカナダへバスや鉄道で観光したところなど当時を懐かしそうに教えてくれました。

### 休日の過ごし方

帰国後は、実家に就農し現在は両親と3人で経営しています。

家族経営でありながら労働力にゆとりをもつて経営する荒牧場では、家族それぞれに趣味があります。両親は年に数回、道内外を旅行し最近では城めぐりに熱を入れていくようです。

貴志さんは夏場には大型バイクでツーリングし、近隣のソフトクリームを食べくらべをしたりしています。ツーリング仲間には会社勤めのメンバーが多く集まるのは日曜になりますが、天気がいい時は気分次第で気軽にツーリングできるのは酪農家で良かったと思うそうです。また、冬はスノーボードに没頭し、以前は1泊で遠出したりもしていましたが、今はシーズンで20回ほど仲間と阿寒湖畔スキー場をメインに雪を楽しんでいます。



阿寒へスノーボードに行くのが冬の楽しみです。



青年部の音楽イベントを主催

### これからの目標

「まだ自分の経営ではないので全てが自分の思い通りにできない部分もあるが、育成牛の飼養管理を今より効率的にしていきたい。放牧地の良質な草作りを模索中。農協青年部も4月から理事となり責任が増えたので情勢の事をもっと勉強して吸収していきたい」と目標を教えてくださいました。

### <荒貴志プロフィール>

1988年2月24日荒牧場の1男2女の長男として生まれました。別海高校を卒業後、アメリカに渡り酪農の知識を得るためにミネソタ州とウイスコンシン州で1年間研修し、荒牧場の3代目として実家に戻り現在に至る。趣味は、スノーボードとバイク。

# 経営を安定させて、 家族で出来る規模で営農したい

4月11日より美原地区(旧田中克好さん宅)に新規就農されたご家族を紹介します。



新しい

## 仲間を紹介

美原地区 北村 <sup>あおぐ</sup> 仰さんご家族

北村 仰さん(38歳)  
(妻)ミルドレッドさん(35歳)



2015.8.17 美幌峠にて

仰さんは旧早来町(2006年に合併、現在は安平町)遠浅で昭和53年に生まれました。旧早来町は酪農が盛んで、小さい頃から身近に酪農とふれ合いながら育ちました。

父の転勤とともに旭川、小樽と移り住み高校、そして短大へと進学、卒業後は会社員として十勝の会社に勤めました。

ある時、知人の紹介で「更別村で酪農体験がある」ということを聞き、以前から酪農に興味を持っていたこともあって、年末年始の休暇を利用して3泊4日の日程で更別村の酪農家へ行き体験をしました。

その後も3年程同じように休暇を利用して酪農体験をしていたのですが、サラリーマン生活よりも酪農のほうに魅力を感じ始め、31歳の時に思いきって勤めていた会社を辞め、更別村の牧場へ従業員として働きはじめました。そこで数カ月働いた後、別海町の酪農家を紹介され別海町へと移り住み、牧場の従業員として働くこ

とになりました。そこで3年程前から同じ牧場で働いていましたミルドレッドさんと知り合い、仕事の悩みや将来のことを話しているうちにお互い惹かれ合い、仰さん31歳の時に結婚されました。

夫婦で5年程一緒に働いていたのですが、「将来、自分たちの牧場を持ちたい」という2人の夢が大きく膨らみ、今までの牧場経験をいかしながら新規就農の道を目指し、(有)別海町酪農研修牧場へ入所され基礎知識から専門知識まで酪農経営に必要なノウハウを1年9カ月研修され新規就農されました。

北村さんにこれからの抱負をお聞きすると「経営を安定させて、自分たちが健康で生活し家族でできる規模で営農していきたい。また、今ある施設など与えられた環境で精一杯やっていますので、組合員のみなさん何かとお世話になると思いますが、よろしくお願います」と目標と決意を語っていました。

橋本幸二  
さん

# 自家生産牛 7代連続エクセレント達成!



アビリティファーム ミンティア ピーターチエ

アビリティファーム ミンティア ピーターチエ EX90 7代EX

(05-06)H22.9.3生

04-02 305 M9,809kg F3.93% P3.72% SNF9.27%

父:テューダム サプライズ

母(6代):アビリティファーム ジャスミン ピーターチエ EX91

5代:アビリティファーム アクトレス ピーターチエ EX91

4代:アビリティファーム ストーム ピーターチエ EX92

3代:アビリティファーム リンデイ ピーターチエ EX90

2代:アビリティファーム ポテント ピーターチエ EX92

初代:アビリティファーム クリス ピーターチエ EX91

今年3月に行われた北海道ホルスタイン農業協同組合による体型審査において、美原地区の橋本幸二さんが日本初となる自家生産牛7代連続エクセレントを達成されました。

橋本さんは4年前にも同ファミリィで同一牧場6代連続エクセレントを日本で初めて達成されました。日々

の努力と研鑽が実を結び、良血な遺伝子が受け継がれ、7代目のアビリティファーム ミンティア ピーターチエ号まで、素晴らしい牛たちが脈々と誕生してきました。今後このファミリィの更なる活躍を願いながら素晴らしい牛達に出会えることを期待しています。

## 第43回中春別農協青年部通常総会 農業を通じて地域社会に貢献

中春別農協青年部(兼松真武部長)では、4月15日(金)に農業者団地センタートレーニング室において、第43回通常総会が盛会に開催されました。



青年部員一同回結し若い力で「頑張ろう!」

記念品の贈呈が終わり、兼松部長より開会のあいさつ、また来賓を代表し、農協より小湊組合長、中春別酪農対策協議会より西川会長に祝辞を頂き、議事へと移りました。

議長には、中春別地区 中山泰輔さんが選出され、議事が進められました。議案第1号「平成27年度事業報告並びに収支決算について」、議案第2号「平成28年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について」、議案第3号「平成28年度会費の賦課及び徴収方法について」、議案第4号「役員改選について」以上案第1号から第4号まで全て可決承認されました。

平成28年度青年部役員については以下の通りとなっております。

開会に先立ち、永年にわたり青年部事業推進にご尽力いただき、28年度を持ちまして定年を迎えられた紫藤有策さん(豊原地区)、北村昭さん(美原地区)森田哲司さん、小湊均さん、本田剛さん、金子琢哉さん(以上4人中春別地区)感謝の意を込め、記念品の贈呈が行われました。

- |     |        |
|-----|--------|
| 部長  | 兼松 真武  |
| 副部長 | 野矢 貴志  |
| 副部長 | 山田 晃嗣  |
| 理事  | 藤倉 香津靖 |
| 理事  | 相澤 孝太  |
| 理事  | 荒 貴志   |
| 理事  | 柿本 竜矢  |
| 理事  | 小西 祐司  |
| 理事  | 片岡 卓也  |
| 理事  | 平井 優一  |

## 根室地区農協青年部連絡協議会第65回通常総会及び研修会 道民550万人と力を合わせて困難を乗り越える

根室地区青協(安達永補会長)では、各関係機関より多くの来賓、各単組より多くの盟友が集まり、4月21日(木)根室農業会館において第65回通常総会が盛会に開催されました。

当日は当地区より8人の部員が参加され、開会に先立ち、「第28回J A北海道大会決議の実践について」と題した研修会が行われ、講師にJ A北海道中央会共通広報課の土屋慶年主幹を招き「食と農とサポーター550万人づくり」事業の説明の後、総会へと移りました。



各単組から多くの盟友が集い、酪農地帯である根室地区の回結力をうごかして発揮しよう

始めに平成27年度全道J A青年部大会において活動実績発表を行い、優秀賞を受賞したJ A標津青年部、手作り看板コンテストで全道アート部門最優秀賞・全国アート部門賞を受賞したJ A道東あさひが表彰され、議事へと移りました。

議長には、中標津青年部・原健治氏を選出され、議案第1号平成27年度事業報告並びに収支決算について、議案第2号平成28年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について、議案第3号平成28年度会費の賦課・徴収方法の設定(案)について、議案第4号参与の承認と特別負担金の徴収(案)について、議案第5号役員改選について以上、議案第1号5号まで可決承認されました。また、指定団体制度の機能を維持する特別決議・T P Pを道民550万人とともに乗り越える特別決議とし、政府与党に対し引き続き訴えを行っていくことが満場一致により承認されました。新役員については、以下の通りとなっております。

- |     |            |
|-----|------------|
| 会長  | 久保 拓伸(計根別) |
| 副会長 | 田中 将彦      |
| 理事  | 乾 元樹(中標津)  |
| 理事  | 小杉 地平      |
| 理事  | (道東あさひ)    |
| 理事  | 兼松真武(中春別)  |

平成27年度根室地区JA青年部幹部研修を終えて

## 将来を担う若手生産者の 意見反映を図る

毎年開催されておりますJA根室地区青協幹部研修会が、3月7日より1泊2日の日程で管内盟友8人(根室地区協議会2人、中春別1名、標津1人、中標津2人、道東あさひ2人)が参加し、当青年部から久保光大理事(27年度)が出席しました。

今回の幹部研修は、当初1月に予定されていましたが、悪天候のため日程を延期し、開催されました。

7日朝中標津空港より千歳経由で羽田に到着し、その足で千代田区の農林水産省へ向かいました。そこで中央会の事務局の方と合流し、農林水産副大臣の伊東良孝衆議院議員と面会していただきました。

10分弱の時間の中で、伊東議員より用途別補給金単価、クラスター事業の基金化について口頭で説明していただきながら、私たちの意見や今後不安なことはどんなことか直に聞いてくださりました。

私たちが若い世代の意見に



多忙な中、若手農業者の意見を聞いていただいた伊東副大臣

真摯に向き合っていたのではないかと実感でき、これからの生産意欲が湧いてきました。



農林水産省畜産部と活発な意見交換を行いました

た。

この後すぐに農林水産省畜産部との意見交換が始まりました。最初に27年補正・28年当初予算について説明があり、その後はクラスター事業についての質問や担い手対策事業、地域の活性化について、防疫対策など、あらかじめ勉強会で提出していた質問内容の回答と質疑応答で進んでいきました。が、こちらからの質問や意見が相次ぎ、予定の2時間を大幅に過ぎましたが熱心に耳を傾けていただきました。今後、農水省で施策していただくうえで、現場の意



管内盟友と貴重な経験をしました

見を伝える大変重要な意見交換となりました。

その後、懇親会が開かれ、昨年7月に根室地区青協のファームステイ受入事業に参加された農水、中央会の方たちや農水省を退職された原田元畜産部長も参加していただき、皆さんと語り合い一日が終了いたしました。2日目は、空港に着くと

濃霧のため2時間遅れの出発となりました。ですが全員無事中标津に到着し、全日程終了となりました。この研修は勉強になったとともに、有意義な農林水産省の訪問となり、貴重な体験をさせていただきました。お礼申し上げるとともに今回の報告とさせていただきます。(青年部・久保光大)

根室農業改良普及センター  
**営農対策情報**

**スムーズに放牧期をむかえましょう！**

5月に入り既に放牧を開始された方も多いかと思いますが、半年ぶりの放牧で、人にも牛にも大きく飼養環境が変化します。この管理の変わり目をスムーズに乗り切って、本格的な放牧時期に備えましょう！

の馴らし放牧からはじめましょう。そうすることで、ルーメン内の微生物が放牧草に適応する間を稼ぐことが出来ます。馴致を行うことで、その後の放牧草の採食や乳量が安定します(図1)。また馴致は畜舎の出入りや外気温に牛を慣らす意味もあります。

料を与えることも必要となります。

**3 水は飲めていますか？**

牛が放牧草を腹一杯食べるためには、水が必要です。牛は放牧地で1日60〜70ℓの水を飲みます(図3)。畜舎に牛を入れた時、牛が真っ先にウォーターカップの水を大量に飲む場合は放牧地での水不足の可能性が高いです。「給水車を使用している場合、据え置ききの水槽と違い、タンク内の水しか給水出来ません。小まめに給水車を利用して水を補給しましょう(写真1)。また据え置ききの水槽を使用している場合は、どの

牧区からも牛がアクセスしやすいところに設置することが望ましいです。



写真1 小まめな水の補給

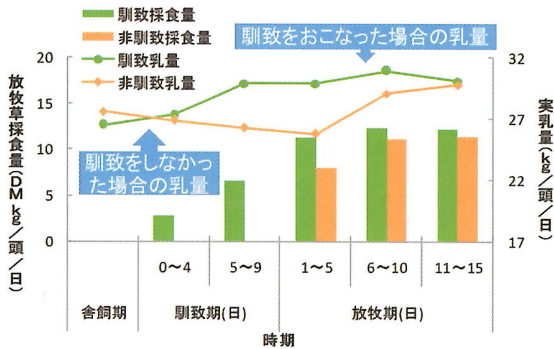


図1 馴致の効果について (新得畜試1987)

**1 放牧草に馴致させましょう！**  
この時期は牛を放牧草に慣らす大切な時期です。1日2〜3時間



図2 肋の張りを確認しましょう

**2 併給飼料も忘れずに！**  
馴らし期間中はまだ草量が不足しています。畜舎に牛を戻す際は、いつもより肋の張りを観察しましょう(図2)。もし肋の張りが不十分な場合は草架などで粗飼料を与える。早め牛を畜舎に戻して中で粗飼料を給与する、パルプのような併給飼

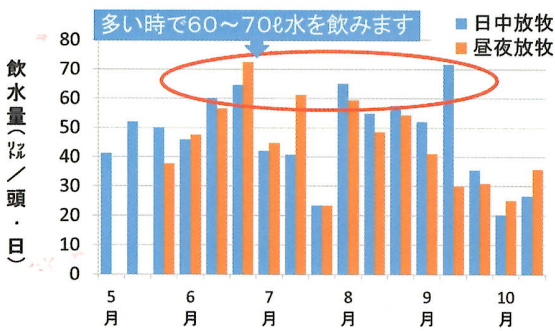


図3 放牧地の飲水量(上川農試天北支場2006)

**4 牛道の準備は進んでいますか？**

牛道は牛の毎日の通り道です。悪天候でもぬかるまず、歩きやすいようにきちんと整備しましょう(図4)。



図4 牛道の整備

舎飼期から放牧期へスムーズに移行して、本格的な6月の放牧期をむかえましょう。





# 事業計画など議案を審議、 満場一致で可決承認される

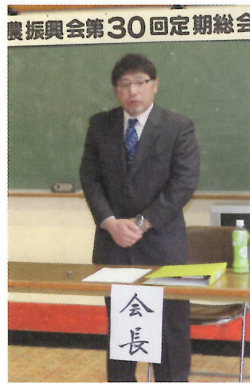
美原酪農振興会  
第30回定期総会

美原酪農振興会(浮川優会長)では、4月9日(土)美原会館において第30回定期総会が開催されました。

始めに中春別酪農対策協議会・

西川会長より総会開催にあたり祝辞をいただき、議事へと移りました。

議長には緑進地区の竹田潤さんが選出され、議事が進められました。



議案第1号平成27年度事業報告並びに収支決算について、議案第2号平成28年度事業計画書(案)並びに収支決算書(案)について、議案第3号平成28年度会費及び会費の賦課徴収方法について、議案第4号役員改選について以上議案第1〜4号まで満場一致のもと可決承認されました。

最後に良質乳農事組合に新酪農事組合、改善率1位農事組合によつ葉農事組合がそれぞれ表彰され、第30回定期総会が無事終了いたしました。



平成28年度新役員については次の通りとなっております。

- 会長 浮川 優
- 副会長 北澤光太郎
- 総務 佐藤 浩明
- 会計 尾形 春喜
- 幹事 山本 広行
- 長野 清志

中春別酪農振興会(高橋真悟会長)では4月13日(水)農業者団地センターにて第38回通常総会が開催されました。



## 厳しい酪農情勢の中、 みんなの力を結集しよう

開会に先立ち乳質改善褒賞が行われ、個人の部では佐藤樹元さん、平井真一さん、斉木豊樹さん、渡辺秀彰さん、上田勝さん、小林亮平さん、(有)中山農場さん、森田秀一さん、福島勝さん、佐々木克典さん、(有)伏見牧場さんが表彰され、団体の部では1位春別農事組合、2位平系農事組合、3位中春別農事組合が表彰されました。

中春別酪農振興会  
第38回定期総会  
総会では、議長に小林亮平さんが選出され、議案第1号平成27年度事業報告並



びに収支決算について、議案第2号平成28年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について、議案第3号会費の賦課徴収について、全議案が可決承認されました。  
平成28年度の役員構成については次の通りとなっております。

- 会長 高橋 真悟
- 副会長 石森 裕治
- 総務 村山 英司
- 会計 片野 大介
- 代表監事 島崎 清
- 監事 芳中 秀将

# 良質な粗飼料を確保し、 実りある1年を迎えよう

豊原酪農振興会  
第54回  
通常総会

豊原酪農振興会(渡邊覚会長)では4月18日(月)に豊原会館にて第54回通常総会が来賓、会員の多数の参加のもと開催されました。

まず最初に平成27年度乳質改善コンテスト表彰式が行われ、27年度の表彰者は、野矢貴志さん、篠田翔司さん、木原誠さん、佐藤孝徳さん、久保義則さん、花岡芳征さん、菅原美香さん、加藤信宏さん、中村教さん、(有)尾田牧場が日頃の乳質改善の努力を称えられていました。



議事に入る前に渡邊会長の開会の挨拶で幕を明け、来賓から中春別農業協同組合小湊保組組合長、中春別酪農対策協議会西川寛稔会長から祝辞をいただき、議事へと移りました。

議長には田口豊次さんが選ばれ、議案第1号から議案第5号にかけて可決承認されました。渡邊会長からは、「プール乳価引き上げや個体販売価格の高値取引など、明るい話題も多かった27年度でしたが、ここに至り指定団体制度の廃止提言の話題が上がってきましたが、夏には良質な粗飼料を確保し皆さんが実りのある一年を迎えてほしい」と挨拶があり、豊原酪農振興会総会が幕を下ろしました。

なお、平成28年度新役員は以下

のとおりとなっております。

会 長 渡邊 覚  
副 会 長 中村 貞志  
副 会 長 紫藤 有策  
書 記 奥山 明範  
会 計 西牧 健  
常任幹事 野矢 貴志  
片岡 一也  
田口 豊次  
西牧 健  
奥山 明範  
松井 和孝



## 6月1日は 自動車税の納期限です。

今年も自動車税の季節を迎えました。納期限は6月1日です。  
納期内納税にご協力をお願いいたします。

### 問い合わせ先

納税に関するご相談は、  
根室振興局 地域政策部 税務課納税係  
まで ☎(0153)24-5466 (直通)

## ボランティア組織そよかぜ 会員募集

ボランティア組織そよかぜでは一緒に活動する仲間を募集しています!

活動内容はお誕生日はがきの作成、介護施設へのウエス(古布)寄付、視察研修や講習会など様々な活動を行っており、昨年は別海のグループホームすずらんへ訪問ボランティアを行いました。そよかぜでは、たくさんの人たちの笑顔に出会えるように自分たちの「できることから」活動しています。一緒に活動してみたい方、活動に興味のある方はお気軽に営農振興課(☎76-2241)までご連絡ください!

### 大正琴が好きなのよ！ 稽古とおしゃべりで心も頭もリフレッシュ

今月号は大正時代に作られた楽器、大正琴で活躍されている「琴悠会」(豊原地区)をご紹介します。

稽古の最中にもかかわらず笑顔で迎えていただいた「豊原琴悠会(きんゆうかい)」の皆さんと、優しく指導される高橋千津子先生。

始めたきっかけは望月雪枝さんが別海町の文化祭で大正琴を初めて聴いて、何とも言えない心に響く音色に「ぜひ、これをやりたい！」と思い、演奏終了後、当時の工藤先生を追いかけ、「ぜひ教えて欲しい」と懇願したところ、その場での即答はなかったのですが、後程「みんなが集まってくれたら良いですよ」と快諾されたのが平成6年。望月さんがリーダーとなって豊原地区のみなさんに声をかけたところ「私もやってみたい！」という方が集まり15人で始めました。見るのも触るのも初めての人がほとんどで、始めは童謡の「チューリップ」からスタート。右手でピ



笑顔がいつぱい琴悠会のみなさん、左から井上幸子さん、渡邊泰子さん、望月雪枝さん、高橋千津子先生、片岡政子さん

ツクを使って4本の弦を弾き、左手で音階ボタンを押しながら演奏するのですが、なかなか両手が別々に動かず、緊張のあまり力が入り過ぎ、めつたに切れない弦を切る人が続出、大正琴の周りは擦ったピツクのカスが散乱しました。

それでも「好きこそ物の上手なれ」とみなさんメキメキ腕をあげていき、半年を過ぎる頃には

音色も変わり、いろいろな曲に挑戦。童謡から演歌へと幅も広がり、難易度をあげていきました。「上達すればするほど大正琴が好きになつていくの！」とみなさん。

平成16年に工藤先生が亡くなられた後は、助手として先生についてこられた高橋先生が引き継がれました。鉦根支部、斜網支部との交流演奏会が年に1度開催され、仲間たちと会って演奏するのが楽しみでもあり励みにもなっています。

会が発足してから20年が過ぎ、会員の高齢化が進み、亡くなられた方や引越さし退会された方など現在では4人になりましたが、大正琴への情熱は冷めることなく、まだまだ意欲十分。また、練習の合間30分の休憩が楽しみの一つになっています。「少々具合が悪くても、みんなと会っておしゃべりしたり、愚痴を言い合ったりすると頭もリフレッシュするし、具合も良くなるのよ、ハッハハ」と終始なごやか。手づくりのフキの煮つけなども持参され、アットホームな雰囲気。豊原会館で週

に1回(金)昼から2時間稽古をしています。

最後に望月代表から「お料理や孫へのかかわり方、情報や知識など得るものは山ほどあります。また、大正琴は足腰が弱くなくてもでき、これからのボケ防止に最も適しているのではないかと思います。みんな仲良く続けていきますので、希望される方はいつでも声をかけてください」。終始笑い声の絶えない、明るく朗らかな琴悠会のみなさんでした。



高橋千津子先生の指導を受けながら新しい曲に挑戦

# 入学おめでとう!

中春別小学校入学式

サクラ咲いたら1年生  
友達たくさんつくろうね



大きな声で元気にあいさつ

4月6日(ゆ)、朝から雪が降っていましたが、式が始まる頃には新入生の入学を祝うかのように天気は晴れに変わり、中春別小学校入学式が挙行されました。

男子8人、女子9人の小さくて可愛い新1年生が、担任の先生に誘導されながら入場し式が始まりました。新入生紹介では担任の先生から名前を呼ばれると元気よく手を上げ、大きな声で「はい!」と緊張しながらも、にっこりした笑顔に会場がとても癒されました。

盛校長先生の式辞では「先生方はみなさんの入学をととても楽しみに待っていました。自分のことは自分でできる1年生になってほしいです。お兄さん、お姉さんたちと楽しい時間を過ごしましょう」と呼びかけていました。在校生から「明日から楽しい1日が続いています、元気に登校してください」と歓迎の言葉を贈りました。

誓いの言葉では新1年生がステーションに上がり一列に並び「僕たち、私たちが勉強や運動を一所懸命頑張ります。みなさんよろしくお願ひします」と全員で声を揃えて誓いました。

新1年生のみなさん入学おめでとうございませう。ピカピカのランドセルを背負って元気よく学校に行き、たくさん遊び、たくさんのお話を学んでください。これからの成長を楽しみにしています。

中春別中学校入学式

# ピカピカの1年生、

勉強に部活、  
精一杯がんばります！



中春別中学校では4月6日(水)新しい体育館で初めての入学式が行われました。

胸にピンクの花を付け少し緊張しながらも、新しい校舎にワクワクした表情で入場する男子9人、女子8人の新入生。ドキドキしながら期待と不安でいっぱいの中、式が始まりました。

国歌斉唱、校歌斉唱を終え新入生紹介では、元気よく笑顔で「ハイ」と返事をする新入生。

学校長式辞では「今回のキーワードは『学習』という2つの文字です。小学校では習う学ぶが多かったと思います。中学校では自分自身、主体的に学ぶことが多くなります。人間関係で悩むこともあるでしょう。自らのチャレンジ精神でたくさんのごことを学んでください」と新入生に語りかけました。

生徒会長から「挨拶ができ、規則正しい生活を過ごしてください。継続は力なり、何事にも挑戦し努力して頑張ってください。新入生のみならず、積極的に行事に関わり私たちと一緒にがんばりましょう」と新入生を歓迎しました。

中学生のみなさん入学おめでとうございます。新しい校舎、新しい制服に毎日が楽しみですね。これからは部活、勉強に精一杯頑張ってください。



新しい生活がスタートします



職員の紹介

### ●【酪・専】入学式が行われました

4月8日(金)、平成28年度入学式が本校体育館で行われ、普通科73人、酪農経営科15人、農業特別専攻科5人が新たに入学を許可され、多くの来賓の方々が見守る中、厳粛に入学式が挙行されました。また入学式の中では、在校生有志の「校歌隊」による校歌が披露され、会場から大きな拍手を受けていました。今年度は、全校生徒263人、専攻科学生12人の計275人がこの学び舎で学んでいきます。



新入生による宣誓の様子

### ●【酪農経営科】農業クラブ紹介

4月11日(月)、新入生と在校生の対面式が行われ、全校生徒が一堂に会しました。



活動紹介の様子

その中で、農業クラブ執行部の紹介も行われ、酪農経営科の農業クラブ活動や実習の様子をコミカルに紹介しました。酪農経営科の入学生にはもちろん、普通科の生徒にも農業クラブ活動に関心を持ってもらいたいと思います。

### ●【酪農経営科】農業クラブ紹介

4月15日(金)、18日(月)の2日間にわたり、1年から3年の各クラスでクラス代表を選出するための意見発表会が行われました。

春休み中を使って自分の考えをまとめ、クラス全員の前で、酪農経営に関わることや環境問題、を発表するとともに、発表に対する質疑応答をとおしてお互いの理解を深めました。

この後、各クラス4人ずつを選出し、5月13日(金)に行われる校内意見発表大会に臨みます。

### ●【農業特別専攻科】新入生歓迎会を実施

農業特別専攻科では4月8日(金)に新しい5人の仲間を迎えました。



新入生歓迎会の様子

新入生は、それぞれ出身や経歴は異なりますが、これから2年間、同じ学舎で同胞とともに学んでいく決意や希望に満ちた様子でした。また、同日には学友会の主催による新入生歓迎会が行われました。2年目学生のあたたかい歓迎を受け、昼食をとりながら各自の経歴を自己紹介するなど、なごやかな雰囲気で開催されました。

これから2年間、専攻科の学生として学ぶ中で、地域を担う農業者として、さらにステップアップしていただきたいと思います。

### ●【農業特別専攻科】春季交通安全講習会を実施

4月11日(月)に春季交通安全講習会を実施しました。講師にリプラス株式会社より、宮さんをお迎えし「映像で確認する交通マナーと交通安全」と題して講義をしていただきました。



交通安全講習会の様子

また、中標津警察署交通課より廣田様、石井様、別海派出所より原田様をお迎えして、車両の点検と事故防止についての指導を受けました。

学生からは、「もし事故を起こしてしまったことを考えると怖くなりました。もっと周りを見て運転していくよう心がけたいです」「今回の講習で改めて自分の運転について見つめ直す良い機会となりました」といった感想が聞かれました。



車両点検

毎日の交通安全に対する意識を改めて考え直す良いきっかけとなりました。

### ●【農業専門教科担当スタッフ紹介

人事異動に伴い、職員の転出、転入がありました。



#### 【酪農経営科】

酪農経営科長 平岡賢一(畜産)

教諭 中村地平(畜産・酪農経営科1年担任)

#### 専攻科より

教諭 大村竜二(作物)

教諭 明石 哲(畜産・加工)

実習担任教諭 高橋克宣(加工・野菜)美幌高校より

実習助手 藤村稜(草花)

<異動> 実習助手 富田信弥(帯広農業高校へ)

#### 【農業特別専攻科】

専攻科長 菊地昭吾(畜産)

教諭 佐藤信(畜産・専攻科1年担任)

#### 酪農経営科より

教諭 海鉦崇貴(作物・専攻科2年担任)

教諭 寺内まどか(畜産)

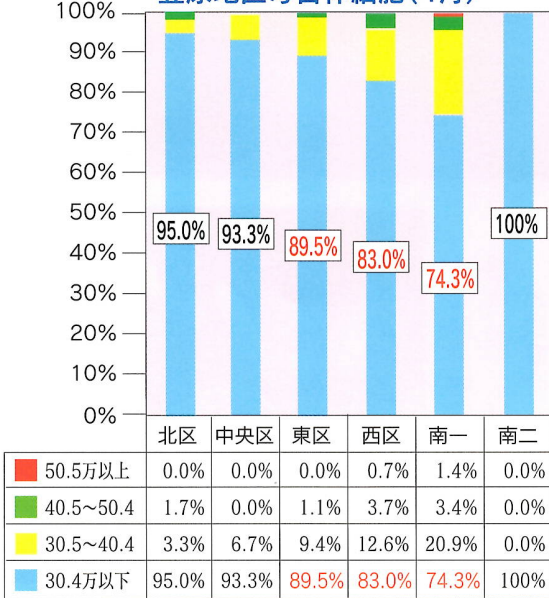


生乳汚染事故を無くそう！

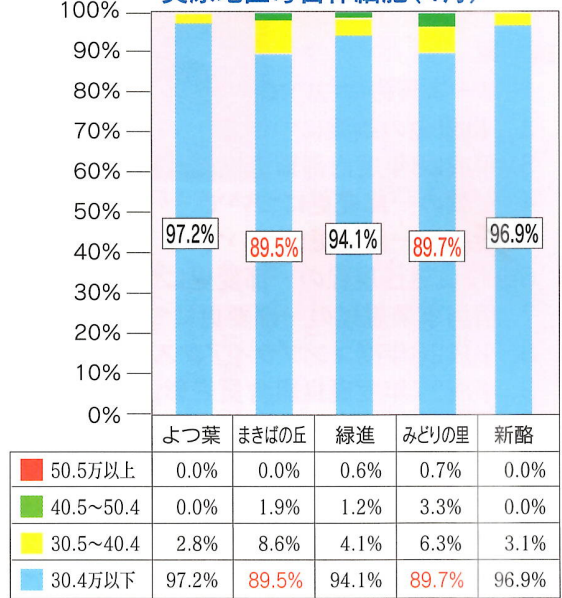
- 抗生物質混入事故…………… JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。
- 生菌による汚染事故…………… JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。
- 異物混入(小動物)、加水、血乳による汚染事故… JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。
- 異臭、異常風味による汚染事故…………… JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。

子牛の生活環境は良好ですか  
子牛の抵抗力をアップさせるためにも衛生的に  
管理し清潔な哺乳を行いましょう。  
将来の健康的な牛群を支えます。

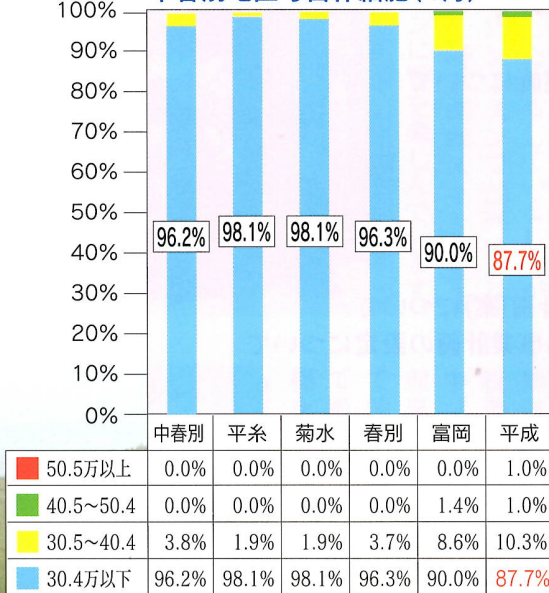
豊原地区毎日々体細胞(4月)



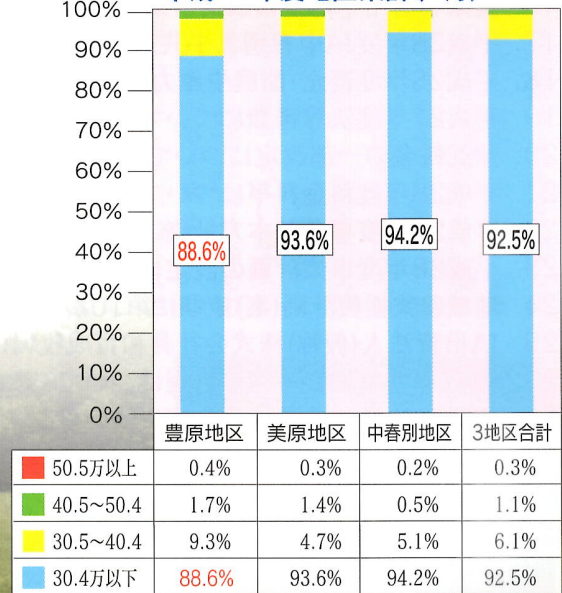
美原地区毎日々体細胞(4月)



中春別地区毎日々体細胞(4月)



平成27年度地区集計(4月)



## 第1回 理事会の動き

平成28年4月19日(火)

### 議案

1. 平成27年度事業報告について
2. 平成27年度任意積立金(税効果積立金)について
3. 平成27年度決算及び剰余金処分(案)について

### 報告事項

1. 平成27年度期末賞与の支給について
2. 平成27年度資産自己査定について
3. 平成27年度購買品棚卸資産の差損・差益について

## 第2回 理事会の動き

平成28年4月30日(土)

### 議案

1. リース契約について
2. 出資金の譲渡について
3. 平成28年度内部監査実施計画について
4. 定款の一部変更について
5. 規約の一部変更について
6. 役員選任規程の一部変更について
7. 信用事業規程の一部変更について
8. 平成28年度コンプライアンスプログラムについて
9. 平成27年度優良組合員表彰について
10. 平成28年度余裕金運用方針及び運用について
11. 平成28年度不良債権処理方針について
12. 平成28年度営農年度財産造成に伴う資金の貸付について
13. 平成28年度営農年度クミカン取引計画に係る貸越極度額及び供給限度額の認定について
14. 別海町家畜ふん尿貯留施設整備事業について
15. 畜産環境施設整備事業について
16. 糞尿利活用草地整備改良事業実施要綱(案)について
17. 平成28年度JA中春別乳牛共進会(案)について
18. 平成28年度畜産・酪農生産力強化対策事業の実施について
19. 平成27年度決算書類について
20. 預託料金の一部改定について
21. 平成28年度料金料率について
22. 平成28年度事業基本方針(案)について
23. 平成28年度事業計画の設定について
24. 地域農業振興計画(案)並びに第10次中期経営計画(案)について
25. JA出資法人(仮称)株式会社共和育成牧場に係る事業計画の設定について
26. 第42回通常総会の開催日程について
27. 第42回通常総会の提出議案について
28. 第42回通常総会招集通知への記載事項について
29. 第42回通常総会の議決権行使にあたっての留意事項について

### 報告事項

1. 平成27年度(有)中春別マシンセンターの決算報告並びに平成28年度事業計画について
2. 平成27年度(有)ジェイエー・ワンブの決算報告並びに平成28年度事業計画について
3. 子会社の監査報告について



4. 平成27年度決算監査報告について
5. 組合員の加入について
6. 職員の退職について
7. 人事の発令並びに試採用辞令の発令について
8. 緊急事態発生対策・火災発生対策機構図の変更について
9. 平成28年度農事組合長会について
10. 平成27年度余裕金運用実績について
11. 平成27年度3月末財務状況について
12. 平成27年度監査室業務活動報告について
13. 平成27年度3月末購買事業実績について
14. 平成27年度末貯金推進実績について
15. 共済一斉推進の実施について
16. 平成27年度3月末営農生産関連実績について
17. 平成27年度生乳生産戸別実績について
18. 平成27年分農業所得税納付額について
19. 平成27年分農業消費税納付額について
20. 平成27年度経営改善プロジェクト取組み検証並びに平成28年度取組み内容について
21. 平成27年度経営移譲に係る褒賞対象者について
22. 平成27年度乳質改善良質乳生産者表彰について
23. 平成27年度乳質ペナルティー使途報告について
24. 平成27年度生乳補償互助会決算報告について
25. 特定疾病感染補償互助会の支払いについて
26. 平成27年度特定疾病感染補償互助会決算報告について
27. 平成28年度北海道酪農体質強化対策事業実施要領について
28. 平成28年度府県乳牛動向追跡調査の実施について

### 訂正とお詫び

4月号の6ページ目、根釧パイロットファーム開拓60年を語り伝える会の記事の中で「始めに青野豊原連合町内会長より」は誤りでした。正しくは「始めに根釧パイロットファーム開拓資料館管理運営委員会の青野委員長より」に訂正してお詫びいたします。

## 3月 乳質乳価一覧表

(単位:円/kg)

## 3月分乳代支払単価

				単 価	算 出 基 礎	支 払 価	前 年 期	差	項 目	単価(円)/(kg) %		
乳 脂 肪 分				896.236		36.50	34.21	1.84	乳 脂 肪 分 ①	36円05銭		
無 脂 乳 固 形 分				566.619		49.78	47.89	1.89	無 脂 乳 固 形 分 ②	49円78銭		
補 給 金				5.1575		5.16	4.73	0.43	補 給 金 ③	5円16銭		
計 画 チーズ 奨 励 金				1.7374		1.74	1.89	-0.15	チ ーズ 奨 励 金 ④	1円74銭		
乳 質 単 価	生 菌 数	ランク1	2	319,688,000.0kg	3.73	3.73	0.00		脂 肪 率	全 道	4.02%	
		ランク2	0	6,925,993.6kg						農 協	4.11%	
		ランク3	-3	108,938.1kg						無 脂 固 形 分 率	全 道	8.78%
	体細胞数	ランク1	2	280,450,470.9kg						農 協	8.73%	
		ランク2	1	25,025,680.2kg						成 分 乳 価	全 道	92円73銭
		ランク3	-2	3,319,492.5kg						①+②+③+④=⑤	農 協	91円46銭
合 計						96.46	92.45	4.01	乳 質 乳 価 ⑥	全 道 3円73銭		
									乳 代 合 計	全 道 96円46銭		
									⑤+⑥	農 協 95円20銭		
									差 異	-1円26銭		

# 組合員の広場



作品名「白川郷」by 渡邊泰子

今月号の組合員の広場は「和紙絵画彩会」の作品を掲載いたしました。  
組合員の広場では習字や俳句、短歌、絵画、写真など多数の作品を募集しております。営農振興課・丸山までお気軽にご連絡ください。

作品名「椿」by 中村及子

